

## 議員提出議案第 1 号

带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書を次のとおり提出する。

令和 6 年 3 月 2 2 日 提出

(提出者)	下松市議会議員	柳 瀬 秀 明
(賛成者)	〃	永 田 憲 男
	〃	藤 井 洋
	〃	堀 本 浩 司
	〃	山 根 栄 子
	〃	木 原 愛 子
	〃	渡 辺 敏 之

### 带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書

带状疱疹は、過去に水痘に罹患した者が、加齢や過労、ストレスなどによる免疫力の低下により、体内に潜伏する带状疱疹ウイルスが再び活性化し発症するものです。

带状疱疹による神経の損傷によって、その後も痛みが続く「带状疱疹後神経痛」と呼ばれる合併症に加え、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴などを引き起こし、目や耳に障害が残ることもあるといわれています。

日本人では、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症するといわれています。又、治療が長引くケースや後遺症として痛みなどの症状が残るケースもあります。

下松市においては、人口の約5割が50歳以上であり、合併症や再発なども考慮すれば、市内において各種症状に苦しんでおられる市民の方は、多数に上ると考えられます。

この带状疱疹の発症予防のために、ワクチンが有効とされていますが、費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくありません。

よって本市議会は、政府に対して、一定の年齢以上の国民に対し、带状疱疹ワクチンの助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化を強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

(提出先) 厚生労働大臣 財務大臣